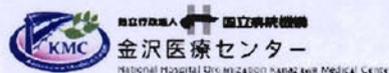


とむろいし 戸室石だより

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院と！



(財)日本医療機能評価機構認定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

年頭のご挨拶

放射線治療棟が新しくなります

院長 小島 靖彦



あけましておめでとうございます。

新年を迎え、この一年が皆様にとりまして良い年でありますようお祈り申し上げます。

皆様ご存じの通り、昨年は国立病院機構も事業仕分けの対象となり、これからは交付金の削減など厳しい医療環境を強いられそうです。しかし、医療行政がどのような舵取りをしようとも、当院は入院治療に重点を置いた急性期病院として、今後とも「質の高い、安全性のある医療」の提供を職員一丸となって貫き通す所存でありますので、どうぞご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、当院の永年の懸案事項であった放射線治療棟の増改築等整備工事が、この6月頃より着工の運びとなります。放射線治療棟に関しては、建築年次が昭和35年から53年であり老朽化、あるいは診療部門から遠く離れていることから、患者さん、並びにご家族の皆様には大変なご不便をおかけしていただいております。本整備に関してはかねてから検討を重ねてきたところでありますが、その都度問題が生じ棚上げ状態になっておりました。しかし今回、建築基準法改正による構造規定の見直しなどの、諸問題が解決できる方向となったことより、整備申請が承認されたものであります。本整備計画は、放射線治療・アイソトープ棟の整備に併せ、原子力センター、手術部、中央放射線部（血管連続撮影装置の増設）、集中治療室の整備拡張も同時に行う大掛かりなもので、既存の原子力センターを取り壊し、その後地下1階、地上3階までの建物を増築するもので、その期間は約1年の予定であります。放射線治療部門あるいは中央放射線部は「地域がん診療連携拠点病院」として、中心的役割を果たし診療・治療レベルの一層の向上に寄与すると考えられますので、皆さんも是非期待して頂きたいと思う次第であります。

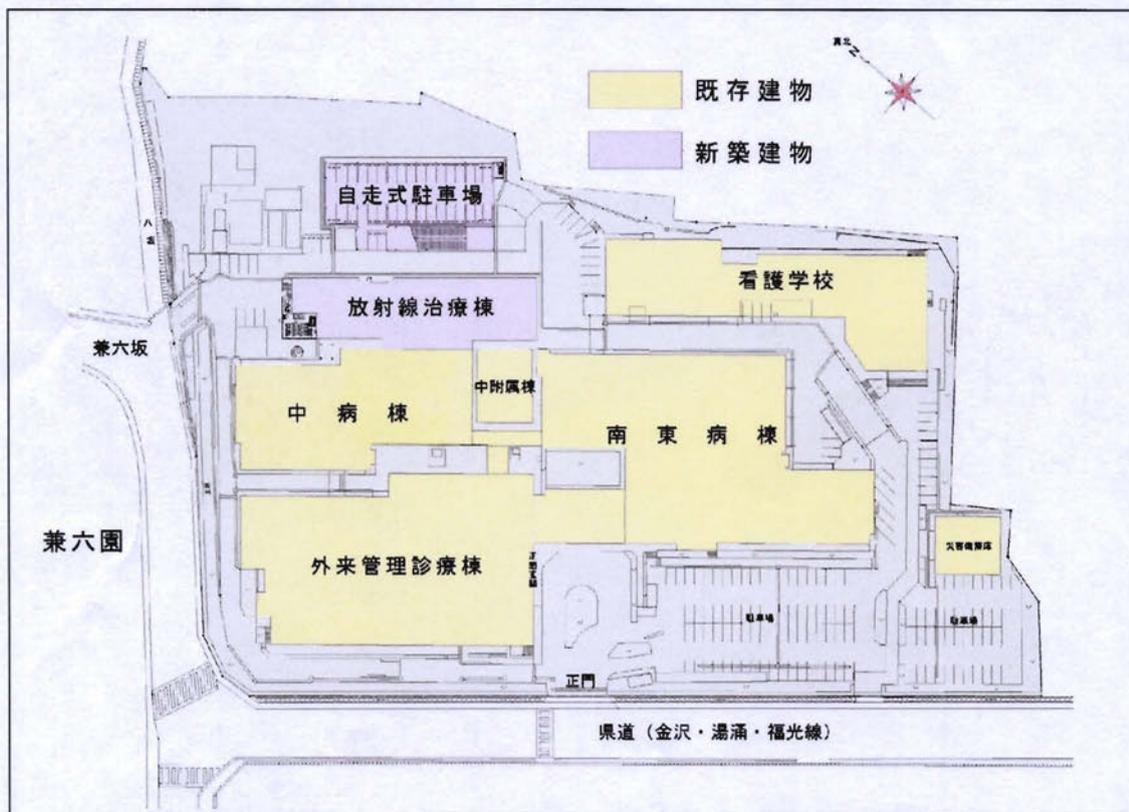
ところで、今回の工事はこのような、かなり大掛かりとなりますので、中病棟北側の駐車場は当面は利用出来なくなります。このために、工事期間中は患者さん、並びにご家族の皆様には何かとご迷惑をおかけするとは思いますが、日常診療には支障を来さないように、病院を挙げて対応致しますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、工事期間中の患者の皆さんの駐車場は院外の職員駐車場に確保する予定であります。また、現在の放射線治療棟の跡地には患者さん用の立体駐車場を建設する構想であります。これまでは病院敷地内の駐車場が少なく大変ご迷惑をおかけ致しておりましたが、幾分か緩和されるものと思っております。ご理解賜りますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

以上、放射線治療棟の増改築等整備工事着工のご報告を兼ね、また「地域がん診療連携拠点病院」の充実のために懸命に努力することをお約束し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成23年1月



放射線治療棟（奥側）と自走式立体駐車場（手前側）の完成イメージ図



放射線治療棟と自走式立体駐車場完成後の院内配置図

第2回病院祭報告

統括診療部長 池田 清延



今回も晴天に恵まれ、第2回病院祭が2010年10月23日（土曜日）、午前10時より午後3時まで開催されました。前回の経験と反省を活かし皆さんからのご意見やスタッフ一同のアイデアを結集すべく、5回以上に渡る会議により催し物の検討を行ってきました。今回のサブテーマを「地域に開かれた病院をめざして」とし、多くの催し物を計画しました。その目玉として、今回は少しお祭り気分を出そうとキッズコーナーや綿菓子コーナーを設けました。他に骨密度やメタボ検診を狙った健康チェック、各診療科からのポスターやビデオ展示、看護学校やコメディカルの

展示ブース、お昼休みを利用したロビーコンサート、模擬診療体験（実際の治療器具の操作、手術疑似体験）、アロマセラピー体験なども行われました。

その結果、来場者数は200名以上（主催者発表）でアンケート回収人数は128名でした。最も高い評価をいただいたのは、手術疑似体験コーナーで、アロマセラピー、健康チェックと続きました。やはり、来場者の皆さんにとって普段、眼にすることのない模擬手術体験は非常に新鮮で興味深く楽しんで頂けたかと思っています。キッズコーナーでの可愛らしいドクターやナースの衣装を着ての写真撮影も子供さんや親御さんに大変人気でした。

少し残念だったのは、中学校や高校生に少しでも医療体験をして頂きたく事前に学校に宣伝ビラを配布し広報活動にも努めましたが、若い方たちのご来場が少なかったことです。やはり、21世紀美術館で行われた「人体の不思議」展までは行かないまでも、若い方たちにも興味を湧くような展示も考えなくてはと大いに反省させられました。次回は練りに練った内容のものを用意するつもりです。ご期待ください。

最後に、院長をはじめとする病院のサポートならびに150名近くのスタッフの皆さんのご協力を頂き、今回も盛大に病院祭が行われたことを深謝いたします。皆さん、ご苦労様でした。



～ 医療の広場 ～

新部長紹介：外科部長 かやはら まさと 萱原 正都



2010年11月1日付けで金沢大学附属病院より外科部長として赴任いたしました萱原でございます。1982年3月に金沢大学医学部を卒業後、故宮崎逸夫教授が主宰する外科学第二講座（現：消化器・乳腺・移植再生外科）に入局し、大学院では膵癌の神経浸潤に関する研究と消化器外科全般にわたる診断・治療を研鑽してまいりました。2年間の黒部市民病院外科で地域医療を含めた研修の後、1990年4月からは金沢大学附属病院の勤務となり、肝胆膵外科学（とくに胆道、膵臓）の臨床・研究・教育を担当してまいりました。胆道癌・膵臓癌の悪性腫瘍手術と胆石症を中心とした鏡視下手術を専門としております。1999年から金沢大学病院では京都大学移植外科の協力のもとに生体肝移植が開始され、大学病院における肝胆膵外科手技も大きく変化致しました。消化器外科領域のなかで高難易度手術とされる膵頭十二指腸切除術に対しても移植手術手技を応用することにより、根治性を損なわない無輸血手術が可能となりました。このような患者さんにやさしい外科治療を提供することを基本理念としてまいりました。

こうした大学病院での経験をいかして金沢医療センターにおきましても微力ではありますが、専門である肝胆膵外科領域は勿論、消化器外科全般にわたる診療にあたりたいと思っております。さらに、当院には消化器科の強力なスタッフがそろっており、消化器科の諸先生と密接な連携をとり、患者さんにより良い医療を提供できる診療体系を目指したいと考えております。今後は石川県の中核病院としての金沢医療センターの役割を果たすべく外科の一員として貢献したいと存じますので、皆様のご厚誼ご鞭撻をお願い申し上げます。

新医長紹介：消化器科医長 おおた はじめ 太田 肇



前消化器科・光学医療診療部長の森本日出雄先生がお亡くなりになられ、昨年7月1日より消化器科医長を拝命しました太田肇です。金沢生まれの金沢育ちです。昭和62年に金沢大学医学部第一内科（消化器内科）に入局し、当院へは平成17年に赴任しました。専門は消化器内科全般ですが特に肝臓病学を専門としております。国民病ともいえるC型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝臓がんを得意分野としております。ウイルス性肝炎の治療は毎年、毎年新しい発見があり、日々進歩している領域です。今までは効果が不十分であったC型肝炎のインターフェロン治療もかなり成績が向上してきています。当科では最新の遺伝子検査も導入し、患者さんひとりひとりに一番よいと思われる治療法を選択し、安全で少しでも副作用が少なく、治療成績の向上を目指しています。

消化器科は肝臓のほかに胆道、膵臓、消化管全般にわたる病気の診断・治療を行っています。内視鏡を用いる検査や治療が主になるため医師6人が力を合わせて協力的に行っています。また手術になる症例も多いので常に外科の諸先生とも連携をとり、最適のタイミングで手術をしていただいております。森本先生のご遺志である、患者さんが中心の診療体系を受け継ぎ、日々精進して参りたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



～ 当院を受診される患者さまへ ～



金沢医療センターの休日及び時間外の救急医療体制についてのご案内

医事 専門職 浜口 正

当院は石川県より指定を受けた救急告示医療機関であり、病院群輪番制病院として地域の救急医療を担っており、救急車搬送患者数は石川県内で最も多くなっています。

救急医療体制は初期救急、二次救急及び三次救急に区分されています。初期医療機関とは「診療や健康相談などを行う、かかりつけ医など住民の皆さまに身近な医療機関」を、二次救急医療機関とは「比較的専門性の高い外来医療や、一般的な入院医療を対象とする医療機関」とされています。三次救急医療機関は「生命が危機的な状態にある患者さんや、高度、特殊、専門的な医療を実施する大学病院や救命救急センターなど」となっています。各段階における救急医療機関がそれぞれ機能を分担し、相互に連携をして救急医療に当たっている状況です。

当院は二次救急医療を担う二次救急医療機関として救急医療体制を整備しています。当院の休日及び時間外における救急治療部の体制は内科系当直医師1名、外科系当直医師1名、小児科当直医師1名の計3名の医師に、集中治療室（ICU）当直医師1名、冠動脈集中治療室（CCU）当直医師1名を含めた合計5名の医師で対応しています。従って常時全ての診療科の医師が当直しているわけではなく、各診療科の医師が交替で当直勤務をしています。そのため、例えば「転倒して膝を負傷されて当院に時間外受診された場合」でも直ちに「整形外科医師」による診察ができない場合があります。この場合は外科系当直医師により初期治療をさせていただき、整形外科医師による詳しい検査、処置等は翌日ということがあります。患者さんの立場からすると直ぐにでも専門診療科医師に診てもらいたいお気持ちは重々承知しておりますが、昨今の医師不足を含む救急医療体制の仕組みと当院の現状については是非ご理解をいただければと思います。なお、患者さんの病状、病態の緊急性や急変等に応じて各専門診療科の医師に連絡する体制（「オンコール体制」といいます。）等を整備し、緊急、急変時対応を行っています。

これからも救急治療部では「救急を断らない」を目標に取り組んで参りますので、ご支援、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。



院内コンサートだより

声楽アンサンブル LaMusica（ラムジカ）は今回も医療センタークリスマスコンサートに参加させていただきました。5回目の参加で当団の恒例行事となりつつあります。お客様は通常の演奏会とは違い、必ずしも合唱に興味のある方ばかりではないので、楽しんでいただけたかどうかいつも気にかかります。皆様の表情を見ながら歌っていましたが、楽しそうな顔を拝見し、大きな拍手をいただき団員一同、一安心しています。今回はピアノ伴奏を内科の伊勢拓之先生にお願いしました。合わせ練習は1回だけでしたが、当日は素晴らしい伴奏でした。他の病院スタッフの方の演奏レベルも高くいつも感心しています。



演奏会をしていると思いがけない喜びがあります。2007年の演奏会后、当団のHP(la-musica-knzw.com)にメールを頂いたことがあります。患者様の娘さんからでした。気分が落ち込み暗い顔をされていたお母様が演奏を聞かれ、表情が明るくなり驚いたとの感謝の内容でした。団員一同幸せな気分になった瞬間でした。こういう出会いを求め、今後も演奏を続けたいと思っています。2011年5月15日(日)に県立音楽堂で演奏会を行います。もう少し聴いてみたいと思われた方は是非お越しください。

(LaMusica 団員；正印克夫 記、当院脳神経外科医師)

「戸室石だより」読者の皆さまへ

～投稿記事募集のご案内～

戸室石だよりでは読者の皆さまより、短歌、俳句、随筆、エッセー、写真などの文芸作品を随時募集しています。頂いた投稿については戸室石だより編集委員会において厳正なる審査のうえ戸室石だより紙面上に紹介させていただきます。投稿先は下記のとおりです。皆さまのご応募お待ちしております。（戸室石だよりは1月、4月、7月、10月の年4回発行を予定しています。）

持参の場合：金沢医療センター内の「御意見箱」に投函、又は地域医療連携室までご持参の程よろしく申し上げます。

郵送の場合：〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号

金沢医療センター地域医療連携室内 戸室石だより編集委員会事務局

Eメールの場合：admin@kanazawa.hosp.go.jp（表題を「戸室石だより投稿」として下さい。）

*いずれの場合も住所、氏名、連絡先等の記載をよろしく願い申し上げます。

担当医一覧表

平成23年1月4日

診療科目	診療時間	【初診受付時間】午前8時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内科	初診	吉村	吉尾/北	周藤	長岡	伊勢	火曜日:初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田(豊)	小村	高島/岡藤	関	丸川	水曜日:初診(消化器)は隔週交代です
	内分泌・代謝①	能登	長岡	能登	栗田	長岡	糖尿病教室:第1～第4月曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝②		(能登)	栗田			高血圧教室:第2水曜日(15:30～16:30)
	腎・膠原病	伊勢	伊勢	上川	吉村	吉村	
	透折	上川	吉村	伊勢	上川	上川	
	血液	吉尾	周藤	吉尾	周藤	大蔵	
	呼吸器	北	廣瀬	北	織部	廣瀬	禁煙外来:毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
	消化器①	関	太田(豊)	小村	太田(豊)	岡藤	
	消化器②	小村	関	丸川	丸川	高島	
精神科		坂井	小室	杉盛	小室	坂井	
神経内科		新田	坂尻	新田	坂尻	新田	火:物忘れ外来(午前・要予約)
			物忘れ外来(新田)	頭痛外来		ふるえ外来(坂尻)	水:頭痛外来(午前) 金:ふるえ外来(午前)
循環器科	一診	佐伯	中村	池田(兼)	中村	中村	初診(毎日)
	二診	小見	阪上	阪上	阪上	小見	
	三診	池田(兼)	佐伯		佐伯	池田(兼)	
小児科	一診	太田(和)	酒詰	太田(和)	酒詰	太田(和)	予防接種:火・木曜日の14:30～15:30(要予約)
	二診	水野	前馬	木場	水野	刀祢	
	専門外来(午前)					酒詰・循環器	午後の専門外来:14:00～16:30(要予約)
	専門外来(午後)	太田(和):夜尿外来 水野・神経	刀祢:未熟児発達 水野・アレルギー	太田(和):腎臓疾患 木場:内分泌	酒詰:循環器 脇坂:神経	太田(和):膀胱造影 刀祢:未熟児発達	健診:火・木曜日の13:30～15:00(要予約)
外科	一診	桐山	(手術日)	桐山	(手術日)	桐山	乳腺外来(初診)
	二診	萱原		小島(第1・第3水曜)		萱原	月・金曜日の8:30～10:00(受付時間)
	三診	竹川		竹川		竹川	消化管ストーマ外来:第1月曜日 13:30～
	五診	黒坂		黒坂		小島(第2金曜)	
	六診	初診 森田		松村		初診 松村	
	七診	道輪		初診 森田		道輪	
	乳腺外来	道輪		(桐山)		竹川	
整形外科	初診	池田	納村	長谷川	上田	内藤	
	再診	長谷川	池田	納村	池田	上田	
	再診		上田		納村		
	再診	(手術日)	内藤	(手術日)	内藤	(手術日)	
脳神経外科	一診	池田	池田	当番医	池田	正印	月・水・金曜日:手術日
	二診	赤池	正印/赤池	(手術日)	正印	赤池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～)
	午後予約外来				バ・キンソン外来(池田)		木(14:00～)バ・キンソン病外来(要予約)
呼吸器外科	一診	太田(安)	(手術日)	太田(安)	(手術日)	太田(安)	
	二診	鈴木		鈴木		鈴木	
心臓血管外科	一診	再診のみ	遠藤	再診のみ	遠藤	再診のみ	初診(一診)は火・木曜日です。
	二診	(手術日)	川上	(手術日)	松本	(手術日)	
	三診		松本		笠島		月・水・金曜日:手術日
皮膚科	初診/再診	稲沖	西島	稲沖	稲沖	西島	乾癬外来:木曜日(13:30～15:30)
	再診	西島	稲沖	西島	吉村(紫)	吉村(紫)	
	再診	吉村(紫)	吉村(紫)		午後専門(吉村)外来		
泌尿器科	一診	越田	越田	越田	八重樫	越田	ED外来:第2・4木曜日 14:30～
	二診	石浦	八重樫	石浦	石浦	石浦	泌尿器ストーマ外来:第3月曜日 13:30～
		八重樫(手術日)		八重樫(手術日)		八重樫(手術日)	月・水・金曜日:手術日
産婦人科	一診	瀬戸	平林	瀬戸	金谷	瀬戸	妊産婦健診:午前(月～金)
	二診	平林	当番医	平林	当番医	平林	助産師外来:午前(月～金)(要予約)
	三診	金谷	(手術日)	金谷	(手術日)	金谷	火・木曜日:手術日
		西		西		西	午後:助産師乳房外来(要予約)
眼科	一診	長田	長田	長田	長田	長田	火・木曜日:手術日
	二診		当番医		当番医		
耳鼻咽喉科	一診	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	小児聴覚:火～木曜日(要予約)
	二診	荒館	荒館	荒館	荒館	荒館	月・水・金曜日:手術日
	三診				廣瀬		
放射線科	一診	齋藤	多田	多田	齋藤	齋藤	照射の依頼:毎日可
	二診	小林	小林	小林	小林	小林	
	(超音波)	徳原	多田・牧田	大久保	多田・徳原	徳原	
歯科口腔外科	初診/再診	小尾	(当番医)	能崎	(当番医)	小山	火・木曜日:手術日
	再診	能崎		中尾		中尾	
	再診	小山		小山		能崎	
	再診			山崎		山崎	
	再診						
麻酔科	一診	岸礎	岸礎	岸礎	岸礎	岸礎	ペインクリニック、術前診察:午前中
	二診	横山	野竹	武川	太田(敏)		

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。

担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。



～～～金沢医療センターの理念及び基本方針～～～

【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、
安全で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献します。
- 一、病診連携を推進して、地域医療に貢献します。
- 一、医療提供基盤の安定に努め、医療環境の向上を図ります。

患者の権利・義務

医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。金沢医療センターでは、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いいたします。

【患者さんの権利】

- 1. 人格を尊重した医療を受けることができます。
- 1. 良質な医療を公平に受けることができます。
- 1. 病状、治療法、見通しなどの説明を十分に受け納得の上で、治療方法を選ぶことができます。
- 1. 病状、治療法、見通しなどに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聴くことができます
- 1. 自分の診療録（カルテ）の記載内容について知ることができます。
- 1. 病状や診療内容に関する個人の情報は、厳密に保護されます。

【患者さんの義務】

- 1. ご自身の健康状態をできるだけ詳細かつ正確に、医師をはじめとする医療提供者にお知らせ下さい。
- 1. 検査や治療方針について納得し合意のうえ、意欲を持って取り組んでください。
- 1. 快適な療養環境づくりに協力下さい。
- 1. 病院の規則と職員の指示を守ってください。

編集後記

金沢に赴任してあつという間に数ヶ月が過ぎ、年も変わりました。初めての北陸ですが、やはり雪には苦しみそうです。車で帰省し帰ってくると、毎回駐車場が雪で埋もれており、その度に雪かきをしています。地元の方は慣れているでしょうが、新参者には腰や背中にきます。思えば実家のある太平洋側は楽なものです。冬は曇りや雨の日も多少ありますが、だいたい晴れています。ましてや雪など殆ど降りませんし、降っても積もりません。従って、雪用の長靴・手袋、スタッドレスタイヤ、雪かき用のスコップ等の雪対策グッズなんて必要ないのですが…。新参者には家計にもきて（響いて）います。(H・M)

発行元：金沢医療センター（〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号）

電話：076-262-4161、FAX：076-222-2758、ホームページ：http://www.kanazawa.hosp.jp/、Eメール：admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室直通電話：076-262-4187、直通FAX：076-262-4188

編集委員：小原香耶、奥村達夫、金子祐子、菊山 譲、北川芳美、越田 潔、周藤英将、仲村恵子、中村由紀夫、西原寿代、森谷 長（五十音順）